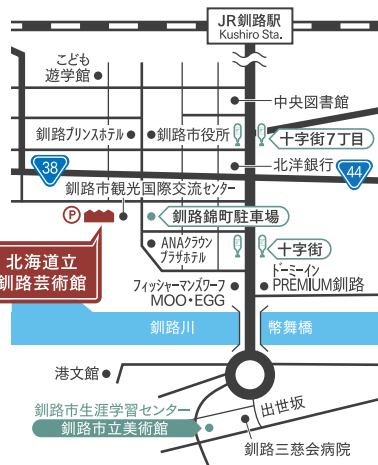


交通のご案内

- JR釧路駅から、徒歩で約15分（南へ約1.2km）。
- くしろバス「十字街」「十字街7丁目」停留所下車、徒歩で約5分。
- 釧路空港から市内行きバスで約50分、「フィッシャーマンズワーフMOO」停留所下車、徒歩で約2分。



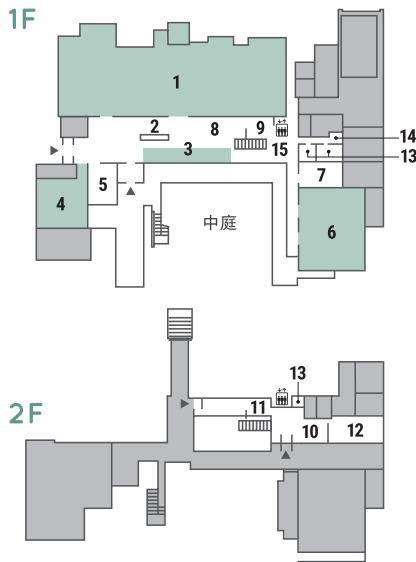
P 来館者専用
駐車場は **8** 台

満車の場合、
釧路錦町駐車場を
ご利用ください。

- 特別展をご観覧の方は利用料金が2時間無料になります。
- イベント等でご来館の方は2割引になります。
- 駐車券を当館受付にご提示ください。

建築概要

- 1 展示室
- 2 受付・発券カウンター
- 3 ロビー
- 4 フリーアートルーム
- 5 美術ワークショップ室
- 6 アートホール
- 7 音楽ワークショップ室
- 8 ミュージアムショップ
- 9 ベビールーム
- 10 閲覧コーナー
- 11 喫茶コーナー
- 12 事務室
- 13 トイレ
- 14 多目的トイレ
- 15 コイン返却式ロッカー



開館日 | 1998年10月24日
 工期 | 1996年7月～1998年3月
 総工事費 | 約20億円
 敷地面積 | 5,000㎡
 延床面積 | 3,430㎡
 構造種別 | 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
 基本設計 | 象設計集団(構想設計競技最優秀)
 実施設計 | 象設計集団+総合設備計画共同企業体

コイン返却式ロッカー、
車いす、ベビーカー、ベビー
ルーム、多目的トイレ等
をご利用いただけます。

コレクション紹介

〈自然と芸術〉〈映像芸術〉〈地域と芸術〉を基本方針として、写真を中心とした映像作品や自然をテーマとした作品、地域と関連する作品など、特色あるコレクションを目指して収集を続けています。
 (2024年3月現在の収蔵作品数920点)

自然と芸術



山田泰《春雷似雷》2002年

映像芸術



水越武《水の回廊・日本列島 大雪山白雲岳》1991年
©Mizukoshi Takeshi

地域と芸術



羽生輝《北の浜辺(床丹)》1999年



釧路美術館の活動

北海道立釧路美術館は釧路・根室圏の芸術文化の拠点として1998年10月にオープンしました。以来、優れた芸術作品の収集・保管をすすめるとともに、多彩な展覧会や教育普及事業の開催、調査研究などを行い、北国の個性豊かな文化の形成を目指す活動を展開しています。



ギャラリー・ツアー



キッズアトリエ

美術館

北海道立釧路美術館

Kushiro Art Museum, Hokkaido

〒085-0017
 釧路市幸町4丁目1-5
 TEL 0154-23-2381
 FAX 0154-23-2386

開館時間

午前9時30分～午後5時
 休館日、夜間開館日については
 中面のカレンダーをご覧ください



<http://www.kushiro-artmu.jp>

【指定管理者】釧路美術館共同事業体【施設設置者】北海道教育委員会
 (北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課 代表TEL.011-231-4111)

「北海道立釧路美術館」で検索 @kushiroartmuseum @kushiroartmu

English
Information



简体字
使用指南



繁體字
使用指南



한국어
이용안내



各種取組

▶ 釧路美術館ボランティアの会 SOA(Station of Art)

美術館の事業に協力・援助する会。広報部、販売部、喫茶部、資料部があります。



▶ アートギャラリー北海道

北海道内の美術館が連携し双方向でアートを紹介・発信することにより、北海道全体がアートの舞台となることを目指す取り組みです。



▶ SOA招待事業

「そあっこ」表示のある展覧会では、ボランティアの会SOAが釧路・根室管内在住の中学生以下のみなさんをご招待!



▶ 地域連携企画 もも得

当館と地域のお店との相互サービス企画を行っています。



釧路美術館の
マスコットキャラクター



4月19日(土) - 6月29日(日)

木村伊兵衛 そあつた
写真に生きる
Ihei Kimura:
Living in Photography



木村伊兵衛 秋田おぼこ、大曲 秋田 1953年

木村伊兵衛(1901-1974)は日本の写真史に大きな足跡を残した写真家です。被写体の一瞬の表情の変化を捉えるポートレート写真や、市井の日常の場面を切り取るスナップショットで独自のスタイルを確立しました。写真家の主要な作品を通じて、独特な眼差しにこだわった写真表現の魅力をご紹介します。



木村伊兵衛《ミラボー橋、パリ、フランス》1955年 ©Naoko Kimura

● 一般 | 1,000(800)円
高大生 | 600(400)円
小中生 | 300(200)円

ロビー展示 Lobby Exhibition ●観覧無料

当館ロビーでは彫刻作品を展示しています



舟越保武 《若き石川啄木》1965年

2025年12月中旬までは幣舞橋に立つ彫刻「道東の四季の像」のエスキース(習作)と舟越保武《若き石川啄木》を、2026年1月上旬以降は米坂ヒデノリ《頌韻(三管編成オーケストラ)》の一部をご紹介します。



米坂ヒデノリ 《頌韻(三管編成オーケストラ)》(部分) 1997年 いずれも当館蔵

2025	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2026	1	2	3																	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		
	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
	27	28	29	30	25	26	27	28	29	30	31	29	30	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28			

■ 休館日 closed ● 夜間開館日(午後7時まで)

7月19日(土) - 10月13日(月)

さかなクンのギョ苦楽展 そあつた
~さかなクンの世界とギョギョギョ水族館~
Sakana-kun Gyokuraku Exhibition:
The World of Sakana-kun and Astounding Aquarium

お魚の情報や海の環境問題について発信し、子どもから大人まで幅広い世代に支持されるお魚博士・さかなクン(国立大学法人 東京海洋大学名誉博士・客員教授)が手がけた絵画や造形物など、海の仲間たち約57点を紹介します。



さかなクン《レッツギョー! さかなクン》2020年 ©SAKANA-KUN&ANAN-I.



さかなクン《ヒラメちゃん(笠間焼)》2020年 ©SAKANA-KUN&ANAN-I.

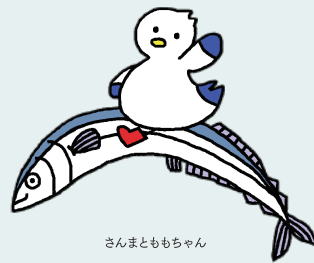
● 一般 | 1,000(800)円 高大生 | 500(400)円 小中生 | 200(100)円

同時開催 ●観覧無料

ももちゃんを見つけ!
北のおさかな界限

Let's Explore Fish of the North with Momo-chan!

当館のマスコットキャラクター・かもめのももちゃんを案内役として、釧路地域を起点に、北海道の魚にまつわる情報やスポットをご紹介します。



さんまとももちゃん

2025	7	8	9	10	11	12	2025	10	11	12	2026	1	2	3																					
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土								
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7							
	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14							
	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21							
	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28							
	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30	31	28	29	30	23	24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	30	31

11月1日(土) - 12月14日(日)

アイヌ工芸品展 彩りと輝き(仮称) そあつた
AINU ART: Colour & Radiance (previsonal title)

アイヌ民族は北海道、樺太南部、千島列島をおもな活動圏として、周囲の民族と交易や交流を行うなかで独自の文化を発展させました。本展では「彩りと輝き」をキーワードに、装飾性豊かな衣服や装身具、ゴザ、木に金属や鹿角などを組み合わせた儀礼用太刀、儀礼用矢筒、煙草入れなどを紹介します。



チカップ美恵子《アレンナ/虹の歌》2002年 佐藤辰美氏蔵 撮影・植村佳弘



下倉洋之《湧水》(部分)2016年 公益財団法人アイヌ民族文化財団蔵

● 一般 | 1,000(800)円 高大生 | 600(400)円 小中生 | 300(200)円

同時開催 ●観覧無料

国立美術館 コレクション・プラス
現代写真のはじまりとそれから

The National Museum of Art Collection PLUS - The Beginning of Contemporary Photography and Beyond

「現代写真の父」と呼ばれるロバート・フランク(1924-2019)とウィリアム・クライン(1926-2022)。東京国立近代美術館が所蔵する2人の作品と当館所蔵の写真作品によって、現代写真の展開を紹介します。



©William Klein Estate

2025	10	11	12	2025	10	11	12	2026	1	2	3																			
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7		
	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	30	31

1月6日(火) - 2月28日(土) ※予定

あの日、この場所で
コレクションにみる地域と美術
That day, this place: Region and Art in Collection

釧路芸術館は平成10年の開館以来、美術作品の収集を続け、現在は900点を超える作品を収蔵。収集の柱の一つには「地域と芸術」があげられます。本展では釧路・根室地域ゆかりの作品のモチーフや制作時期に注目し、美術作品と地域との関係を解き明かしていきます。



望月正男《残照》1983年 当館蔵



米坂ヒデノリ《殉難》1990年 当館蔵



《道東の四季の像》エスキース(習作) 釧路市蔵(当館受託)

● 一般 | 460(360)円 高大生 | 200(150)円
中学生以下・65歳以上無料 高校生は毎週土曜日が無料

2026	1	2	3	2026	1	2	3	2026	1	2	3																			
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7		
	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	30	31